内閣文庫
番號 和 8569
冊數 12 (6)
函號 204 10

内閣文庫
和書
八五六九
一一九三三
冊 架 函 號 類

内閣文庫
和書
八五六九 類
一一九三 號
冊 架

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

十郎行かつをゆくえしらずなる事
わるだくみしかりもるとりかへる事
姫人女がつま
あるんごいてんのいまする事
なのさいれいぐつがひむろまゆこしする
そうぐはうづくふ十郎
お命ゆるしゆくさし事
あるいれとお命ぐらうべばる
ちうがまそぐらうがおごり行うる事
なまよびこしおそのもの
むえいぐんそでまるつる

明治九年購求

ぬるまやうとくれあのまま
ちぐのしやうぶうりそまつりしま

當代物語卷第六

さてもさて命はもとをありぱぷみぐらりそぐへうりのぷぐ。
ちぐぐうの者うれ世のおしひぱぷくくとなんどうう。
うやう月ゆぐのにうらあくぷつんるはあちぐやや。
四二三年おうりりとりをくわさうぬぐにいうとこ
りんうくぷちくぐつくまつぐとりあうりだいそに
こそゆうさよりまぷありぬしうあうあめりにさぐひ。
うんぐくのたうやうせうまつまくうとるま
りうりぷ命ぷううりぐまちくちよりあうりあうをりう
ぐんぷりんくくちひうれいぷうふくれさふうひぷおりくと
とうありぬしあれぐぷまぐそうあそびりのぷ

ときこゆるなんとなくのやとぶらひてあくあもうもて。
ちがくこゑをむつくぐうのれていとをぞうなる。
ありあ一ろうがすこうあいうとのゆうろんあまうか
うねくあがうしうろ中ぶらうがこしあがり
くくたいゑのがうんくいぶづうの圓ひうれんぐうて
治ひずやせんぐんいうこゑ山のううまのぜううぞやを
めぐうこうてゑこやぐしのとぐんぐれあいむ
えりぶうちむぐ。こうゑのあぐううさう海
しいまうみとべうぐれとハしをどおうれげう
このあぐうれひまくくんろひうまれをうなう
ゑまうしあがうこうあわうねあがひりのゑの
ひうこうやいうぶりのなりまいうをぶうゑ

とをやがりひくぶあがとうべうぶうぶれゆう松
うくてぶうぐやかううあうれあうんくなゆ
かがうぶうべうれあううべ。ぶかうれあうてのうこを。
けあよこいこうまうりぶうまがこのんとかひてう。
ちうりううこいわひうりぶをなう猫ごう
うくて。いうぐうこう猫かがあうのゆうさうのあうう
ぐうこうりとふうれていぶのうれうくうとうるぐ。
うあうがくくとひあがぶねくをあうひうぶう
がうてひうようあう。ゑのうちをふがひうへゆく
なくひうえんうあうりぶうちうまくくをれとうちなのあ
てうちに入ぬぶくくをうぐいがうくうとむうは
くぶうくうゆぶなうあぬ世のゆ中れゆあうくくくひぬ

ちりけりこころよのうひのかげあるみてそさえん
わざのうしりはうるるもの
ちりかどにわざのうしりはうるるもの
ちもつのへとりけりぬぬどもよむひひひらかぬやこ
ろのかげりのぬかるてぬこせがりのあづぬてどよ
如将。たいそのそしくぬのゆうろんぞうし
うんとてうてことこうぢやこうのちやうの
うくつひとたてくがくぞといこせうはに長のかく
どにはくぬとこうひのちうこせうしうこれと
やうじうぬうしかぬかとうぬやうしぬやうしぬ
さうこうしてはあけまあさいれのこ命うしひぬ
ぞりうこのんこうひうじとこれうしぬ八よ人ねあがれく

ちとぞよこの西ろんぞりうじまりうぬかぬこうれうぬかぬ
へおざりうりぬりうしうくぬびうひうくぬ山ちうしうちさ
ぬうのあれぬうこうぜんのがんぞんれたのくなうどやみて
ぬうぬぬりうりなうしうやまうりていりをいひうればくく
うてひかぢうじうしうそうといひかぢうぬぢうしたと云
ううがかうへゆうぬぬどやおううくおぬうのぞうくくこ云
とうそぬうくいぢうこうへいぞうだうじいぬうこうまりいとと云
けまぬぬうるとうこうづうこひうへぬやうこうまうれうみぢうり
うりぬうのくうじうりうりうしうらまとうるうでうこいひうぢぬよ
ううづうこうとうこうかこいうよりぬうりうるうこいうとうこん。
ひんようこうしくうるわうくばぬうりうこうてうてうるのぢとと
いうぬぬうこうわうこうやうこうこうひぬぢうこうこうとうぬうそ

おなりぬるぞや。阿世よりもさぶらひぬ人なりも
さのこそこそんぞうりれはかりまひやそぞどし。
うしろいスナ助ぐくとうなくぞひさうづにかりぬ
ハけくとこうひてよいうやしーのうんかうるのとびうり
なりぞや。あうれるくぐみうそうぞくぞくぐ。
六どれこやうぐうもひせうらんさうりぐやうぐでぬ
けうきうやいひとそしぞーひくそもおれりも

みんなぐうり

うとくくみんかとーゆうひとうくさづめうよむ
ーー大ぎうきうされみふうこにぞんかいるかあるぞ。
天ぐうきこゆうろうーじやえ金銀ちりぐくのこう
りびせちんまんぐうりるものうこにあまりうりぞうれ

たぐうかつこれむこうひうやぞ。一人のうかりぞうそい
のまこれうかつびおうり時ぞいふりうようちいみんとぞうつこ
びのうひとなひよぞうこーめうみいうりぞ。
れよれいぞうこあべうこのれうれうこみ物のうずうこと
ぞいふりうりぞうりぞ日ねつりうれこぞんれひとうくぞれ
ぞ人まいあうぞういどうこみ百うこうりぞうこいうに一つ
ゆれれりうざうのうぞうこーぞ百まうでじまうこうるぞ
うのうよあうこどぞうんみれまとちいそいのうこうんて天
乃うくこぞうりうりうこりがりこうりぞりうおいうぬりの
うそあやうこうこうんりぞんうこうとうびいうこうやうんぞうこ
ぞこのうんこうの者れのうりぞうんーやうつうこぬうこうこうれ
こうりうこくべうこびうこそうこうこんべうてぞうこうこのなうこうり

おどすてらうぶしあるたゝうのかりのまと
ゐぶまうくんといふ一番にぶようくとゝひんたりむうん
のらうぎんるなのの蓋ひらのうろづくとれぐり
ちんらやうとたとうりけうぶわりけりとろあへの
ゝとこあどまとうりたりぶうあどひくさうまばうのご
へなのりまゐ屋ん屋ん三人にあくくうつうドあ
かくとかてうぶこまとみそおそうやいあ拙りう。
うりあんぬーと屋うなうてそとそてつ乃へぶそ
ざりやのうにへうとこのいうくたどとき
ゝへぶやうなうりのまれふりさとてあまだうひ
ゐどうまとたゐ拙うどまひくくかどうなうべきあう
ゐなどぶまどうあうとあよそ拙よつこなくてうり

してとたうりけまとぶどもあくいうこうさあんー
あうりぬぶれいりのへうりゐれあたるりをなどさう
うりけのぶうりゝさずいうぶそんのわりれこやこうこ
びくぶゝられてうるくてぶ百人よどうりそうひうう。
ゐりをとそてゐりとあーかりんりあうくめくくりど
がくくてどうなつあ屋ーあひうりよぶゐりけるく
せいちやうしうるどりつりびなうぬーこんかりぬ二人まん
ぬどあとどうせいうりひどうくくうりうりうりよどりせ
けりのたをそどそうかどんおさゆんのせいうりよりび
たれどぶやうまてたこいりぶいうりとたとかんて
そうかどんいありびまうなくよなりふりびとうんん
りよどうをぶこんいをむりぶうせぶうまんよなのまうを

まいぢうのとちづさそうりのあるときまてこいひろハ。
ゆきまてこ一人おくびやうこ
ぢうよりとをとろぐこにわ
ぢうこ
ぢうこ
ぢうこ

ぼだいぜんぜんのきやうぎくれたるこそ殺
とをくどくあつまりうるぞやうちうまいきづまりう
ねりてとくとせびぜんきんうびくてぞや
をくへつさねういかう。時とうせゆくへうのあん
ぬとしハぜんじつくしやとひかぐしぜんさんぎとわぐぬぜん
ぐぜんぜんぐうんぎんこいぞうきよてんもきて行
ぬでさるくれぜんぜんぜんとろぐしぜんひうかくて
いくじわうべさうそしぜんやうきくしぐうけたうれぬかれ
さうんでみぐれんぜんぜん時わくまとぐうぐれぜん天十二天。
ねうぐうぬくぐうくぐうつうとまりぜんぜん天ハりくよ
つまうちうくとうとうひぐうせんとうれうぬゆうしぬれぜん。
おりくしとうくどうくへ行ぜんぜんてんくやうくうとうしん。

ううてんぜんとうせぜのくくぐやうとまりうぜんぜん中よ
ぐとまいてんいうちやとまりんとうひぜんなまこハぐず
のうんぐくとひうまぜやうくうんくうちのうくうて
せぜくくとくみくくみくぜんぜんぜんぜんぜんぜんハ。
ぐりんまうぐれひくまたぜうぐうまやうぐんのくて
とくくぜやうぐぐやぐひのくぐくくにげぐまぐやう
のとくあてぜくつまやくくんのつれぬくくぐぜんひん大
うまくくのうあくくくぜんぜんのうぐんのあくくくのりと
ひうぜぜまぐうまうぐんのとくくぐぐりのとくくそうやうを
まぜうんぐくうくうんうんの月まうくうようちひうまん。
くくぜまくくのぜうまうのぐぐとあくひぬこぜんうまの
いのいくくのぐくれくうとくんぜのまうくんぐやくくう

くれとぼしぐらしやさんまのつらゆゑぞつうそんや
つつとうけぢぐむつやうれやうぼとさしぬいのぎ
そんとそこにまうじぐぐだくひあひはしぬかりて
たどや塩ちりくひうさぐれくまみをそ御甲代上
おしくとりこもあ服のひうなうこうしぬ時くいな
づどしつうちりぬしくさくれもくこの父なぐやうまな
りくくさそんとやさおとぬいれかい天よあまうぬいの海の
世にうぐくのうづくとうぬ時ちりまりまを
そうぬとのくこやうぐにいうとりの鳥ひうぬ天志ぬう
ようぐたうひのこうくとれぎ鳥ぬまかりぬぬしてや
いうんうまくうぐやくこぬのうぬひくくうぬうどわりれの
とあぐくうぬやうちりまぬ鳥ぬまぬけぐしぬ。

うくにちうれちうりむしや一人もくくいぞりうぬい
今うもくくうつくりのぬぐれうあのいうりのぞぬ
いうりうちあくいあうぞぬうくしくあのまとしひうれぐぬ
百人れつりのうくてぬまくにいあやもなりぬぐぬい
づもなりぬひまうくくうとまくくれぐあんぐう雅れ
とかのうぐぐあうさゆふありふうのうていぬりうれり
うぐりなあぬうりぐくてをひくうぐいかりをなうく
一鳥ぬまくくれりふかぐとりてくうんくいうぬくうね
くばうぬ人はうりぬんはちうぐひうぐとうやうし
をあうりのとまうなくくれあぐくくうぐなうりぬうを
しくくうもくいひのまぐぬうんていなりくくしぬうぐ
うくうりあぐくぬのうりくくりなうぐまくうう人百人

のうぐのほんへいろれ
らぬれどうしてぐへと
れはいのいてをんが
なるひやぐれまさまあ
ちくうりほんへろぬ
いのさくたりぐとくぐ
らまつうこぐよはあ
ふたてあれうぐぐ
といひかぐれくがむ
うりうんぐ百のうぐこ
くうとうりをてぐ
さまいしてありひぐ

のうぐへりぐぐの

てぐこよへぐへまあ
うれうぐぐうりやう
うこぐひとうあぐ
うあれはうこのち
うのくだたぐひこよ
くこのうこうへうり
ぐやうはくくんこ
うりいぐひぐそいう
ぐうぐぐまりそぐん
れぐぐれのぐくこへ
てよくりぐくもまぐ
いぐもまひまつぐま

どぶいろのもうぶとぬぐぽゆやをとこえぺのくた
ぢょひざ面づくぽつくくいあつくぐぢひけあみざよ
そぐもぢりっぽあみめもくれいあもぽあとくよなりに
くりぽまもくもまもくもいぐぽくりのそぐもうう
づくぽいれくわれむくをかひいぽくりあくぐぢ
もくくりぢげくやとんあいのありかぐくるあくしくるなり
じぽ面くやなやくもりくもりくもくぐくくだりくいくめ
れりのくぬもぽくくんけくまばよみかくくなびくぢを
わいれなりぽくくてどやくちりくよいぐあひんぽわやよまも
むりび移んぐくんく

ぢんぐいてんのり
あのんんぢをくしんのらまを大ぢんぐいてんくとわくハ

まを移よくくやぽ百人のんくハみ百ぐりくしくなりぽそのの
一のみんぢくあづり移よんうみくなりんれくりやくろ
うのくくくくぽそのありんりくも移ぽ百ぐりやくろ
の移ぐひくぽぐくくみくくわんらくやりいりむってんぐ
ちりひ移ぽりやくくよりくりくさゆくくりぽくくまを
たぐまりくひぐりう

あさいれぐくぐりりりのへひりひゆをにくり
くくをくくくハくりくくをいくくぽ何くくくくりいを
ぬぐハぐりりやくぐいひくりぽりくくハをくをなんぐりう
むりりびぽなぐまくくりりり

みぞまこそあるらんとぞおもうらんとぞ
いうのつるれむとひまもとうやぬれ
ぬとぞやうつ三ぎうこれをひろうぞやそのあ
ぐしとあるべうもかの弁ひまもとそ行うらう
かうべ歩一たんこそなまぐしたよ歩くぬのそ
ひとあぐらやうれぬとうらんもあそうしとやれぬ
うしいこまとうとまうこぐつびだなくうわうま
ゆうのうしうとまとどまうどうて行うそ
うしいれううまんとくぐのうとうなひき
ゆうまとまうひうやうのナ部なまいげ。
こそやあうひうまあんわぐこまとうぐんぬナ
部ぐうまひうぶれしそ出くたいんやうめ。

なぐれのはまとぐうまぐこまとひぐるまぐ部ぐ
りんのうれいぶれぬむりひよ面いまとうぐ面よんの
反ぶとぐやうゆあうぬとうめれうぐりのめぐ行う
ぶちうのまぐりうりぐこまとうやうぐ
えりうぐうりぐやあうとうぬうぐのぐうぐやあに
うひのあまぐうぐ金ぐうんうくうりもぐうこ義
うれまのぐまあいちうりうりうぐりうぐ部に
あ部よううこうあまんうまてうひ面うまて
うれぐうりあぐうぐうやうれ面いううとけとゆうう行
なとうぐうまうりうぐりとうとうれまれ行の
ひうんぐかうぐのうとうぐうだれまやうぐうづうり
のそうちぐ二三すぬうこうのぐうひぐうりうぐうこう

ばうとひらけたるくしやみそこのうれどもあんせんと
わまへだんよいうんわさらるがりろひざなるざふやぱぐ
うんあつづりのくうびいやなうべさぱうこれてあとん
せんぱそーわこまそかまちりけうりうとこのあり
さあとこそぴうやめいどうりさくうあうぐくそんまん
あつうろうみちぐあめとぱのちんきーやうのうりた
うろうぞうーぱあーてやうあとんあいのぱぐうわさ
うこんといぱのーへいあてでとけうくさくなうりのと
後の世までことこれまでじーどひうんくうりがれ。
うあのつーあうりてこみうれんくいんにつうこみぐ
まへんぱとあーくうちまりぱうあひーはーりり
と一うこれうーぱくみもあんんと出一とぐあありひうぐめ。

ちりめちりくくうりぱ今やこまりぐあうーこ附うりん
りまべやぐうーよくうこーとこそぱいりんわさられいなうさ
うぱむうひよまりまぱぬうこんりのうそせうこちうーかりあ
ーこそいうりりうぱりーひぐうこうぱーこーたとうら。
うううがむうひよゆうさうりうがぱうくーなんぐうりやうぱ千部
といりこいうこのちあくーくうりぱこみうそうこんりうり。
つぐりうりあうぐうやうーよあそいうもいぐーぱみあく
いりうくあうんこちぐうくーこうこそーよせんあんなうさやう
あううりむうひうぱうこうがやこうひりまべぱうづりあわあこ
へうりうがぴあぐーこうやうーうがいいかーこそひんあれぱうそ
ひんよあうーべーこそやこうよのこりわそうこびうりあうこうれ。
あーうりあんこうひあわうぐこあぐーようりあとしかーこ

まんくぞ」ようごのせ御ぞのぞへのくしぞ
うの給つりぞむひのこめよりしひでとまつやせま
てゆぞ御のくろくしくてづさぞ御おくろくあやうしくものよ
ぞたいりんやゆべこさぞまよりよそまじ一ごのきよのぼ
のこぞぞんのくゆくしくさのよりしりのるきたりれくぐ。
りのざとそんづてうしひでくしくそゆぞきくろべくハ
りうきよぞ御おりてそ又ぐきよまうとときるあぞう
ひでぐゆんぐくぞごうんあうよ御てうくひくここう
たのくこそまつりゆさうりかぐくぞんよりぐひくゆ
うりくうりくべくしぞきやじごしゆひけまべ御
くてただのひとりいよやりくぐそくうりやとと
おくさりれるいそういぐひぐとくりべくぞくりの

ぜんぞとりぐゆくとゆんくてぞりぐゆくとくそひくて
まのきりんひくさりくくりひぞくりとくりまくそのの
くくこんくりおくりきりぞくそくくおくりたりくりくんくよ
いくくくりくりハきくりりくゆくくまりくひでれりゆ
ひゆうなるゆりおうおぞくれりくまとれりくどぞうまか
くぞ御ゆとんくとあぞくりでぞゆとべよりりぞまるゆ
りんよぞりゆのまくくよまくれとりまりいんきんりなり。
いくのまりくれくさうんゆたりりくりゆりりりきんよ
りりくくべといりぞりやうのるゆとやくべくぞゆくられりの
るまゆぞりくなれりゆりりくぞ御ゆとうりんゆきりくべりく
りりびくうゆまりんゆりりにきんきんよのきんでりくべう
とふむりぐくくゆやりりるりゆや

そうぐさうづくさナかゆよりはしめうく
うしのりのぢらうとゝ行ひてぞやげよしせのはひを
ゆいぞそしナかゆのうちよりあしくはうやぞあ
くくとへでそ行へあふぷへとうりはて祢うり
べうりうつあとぞうまへくくとちやうぜーうぞナかゆちあく
つとあとそーうんくぷゆうようとぷべうとぷそいのぞうりよへ
ぷゆうりあざうはしちくだのうらせぷゆんでのてこんとうと
ろうぷそくもざーひようさぐ軍まへうぞ軍ちう
ろうぷうーりうちとつくくみくさしハあのれなく
ぢぷなりのもちまうちぷナかゆぐんとうくあぐう
さへ屋ちくぐえあうまやぷそれくこんぷのくあ
ぐうりたのぢぷそ立わぐのそすもめまうんぷその事

ひぐのこそやんくまよそどぢぷひぐーちひをぷそはい
らんぬまあうぷてにへりぢあーうちをちーぐまうへよ
ぞとちたりそうぷ元上ろうぷ今一どーちいまてう
をちくりりりぐぷりりーりこまをそいうひりぜん。
ちう立いづうちうちとかぐーめちうんうへうひぐーちはへ。
こうまてぞぬてくれんあんんくちをれぐぷぜんまうあちう
立あぷちぐまよくんとつうひちうぷわぐまうーたんハぷのこや
うちうんいぐあーぷまれすのめりんのうちうぐーぷ
ぐまとちうあればそぷぷぐぜひびーへとうちとちあぐ
あぷぐれまいづうハりんいあーぐぷりーちやひ立うー
りりまちーあぐちうにめぐたりとちひはうんまちう
あーぷちをめにちすあーぐぷーれまりあちうあんぷく

ゑぶくしとちろかくぐぢめりあとせぐぢらすてい
うふとぬべさと。二てびちうのしさぢくこれを
ぜんぜのぢらいぐうちうのなかてだまぐれまうへさうりまに
ぢうふうてれしそぢいかぐあぬしぢあるているよりそなしう
ぢうれ。一刀さしぢうかとかくくるもとぢひえて。義盛一め。
ちうを吹一めんとつうひあんどうりぢいぢいれよあるぢてうれて
らうふ和にさいあるくてゆうさを法へさうそいぢうひのうこ
とをうらまうしぢ十郎よこそそれうれねいざのくへめと
及合。てまいうれてみうれんずをぬさうづされたて。
そまぢ法ん。ぢらうぜれるてうぢまとはいまに
とえ。うしうりうひくぢ。ぢれるとねぶうへいぞう
さうぐぢぢやくくとちうさぐぢいへぢのくぐぢとへうにわうど。

十郎ぢ盛ちたこぢぢくうひ義盛ぐぢうりうにぬぢう
行相ううさうりあしぢ義盛りうりうひ女ぐにもちうくへぢ
ぜんりいそひうまぢぢだうひてんうううくれぢやう
ぢうひぐぢうくへいわうさじ面ちなぢ法ぢ仏とうう勢
ぬけまぢぢのれみぐくまくぢみくよりう。ぬ十三ぐの
人くとぢ義盛のまとうありうぐぢやあうさあんというの
ぐううていぐうなくうれうりぢ郎りくうりうさいぐねれ
のくうてぢのれのりうりうぐぢうさあうさあんなりあまぢ。
うりうりとひうんでぢうぬをせんどうまでとありひ
うりあぐうくひてぢあくうりの
ぢ郎あいそへゆとしあ
くうりうあ郎時家ぢうぐにあくうりうりぢ。又のうあにわけ法よ

そ。ゆきるよむひひ孫んだ四ちりうがまちりよしおさこ
ぐーろりぷ。ーぬとこのひおさらぐぷいろ拍明めの大いそ
へこ。ぬひめろが。東国のぐーたぷ。ーのへ手ありろ行言へ。
なぐ。ぬ。の桜右ゆへぷ。ゆ。ちあ。ーぬ。ぷ。ぷえあくーぬ
ひろれぐぷやうぐろよちーつ。ぬへひおじのちーあちうや
初ーつを。伊賀を氏の四天寺のちあーぐうづろりれぷ。
十文字ひとびちうげ。ろーちーちくぐちひねおりとびぐぐを
よ市のり。ぷよ町のちうねぷで一ぐでよろりつを。ちうち
せば。長ちんの門の色よ。ぷーちーちくむよ一二百文ひりそ
ちり。ぐちーちーちーひりのいりのーぐのあ。ちうりーしぐ
今ーのおちうぬうぐみーろ。ぷのぐーあるーーしぷのそ
とめぐり。日比明めよゆーちうまーく。ぬりしりそちうとり

ぐりうーーりのありよーそつ。ーちーひろりぬ。そ十命ねいりあを
ちへべりぐあと。ぬ。ちんーぐだ。今ーりあちねやー。
ちーぬ。ぷーそとちひ。ぷいうぐれをちーぐ。ーそたちりりぷ。ぐれひひーぬ。ぷ
ろ。後のちやりじをーぐ。ーちーぬ。ぷ。ーりのりりー。
ちーーちーーちんたりあよ。ぷりりーいーそ。ちやりじーうーにちり
ものちぐーをちーりりぬ。ぐべ十命ぷたーそーーふ。ぷ命ーこぐ。ぬよ
ぬーく。ぷりひ。ーこーぬ。ぷーよ。ぬーちーいーふ。ぷ命ーちーーーー。ぬ。ぐ。の
ぷ。ーちうーりよ。ぬ。ちーりりーとだのりーーぐ。ちひちり。
ーりりれ。ぬ。ーーーーとあーくーりーーあ。ーりーあーーーーー
ちり。明めりりーのぐーーちり。ーぬーーぐーぬのーーーー

のの数そわらべそとうひろうぼ天竺のきち
つくはつくてろぼのびくろまゆいたう八むし
ろりんのぼくまとぐぐくまゆかりそおがくろ。
夕日あしのまゆれぼ。ちうげのまやじよとさて
みくれいぼなさいれくまとくそいるやしぼこくやう
まくくろうだいぼおのぐざくこにわくそれいぼくしが
うくろくくろくそひおくくがざくこにわくくさいぼのよ
ぐうぼあなろ和とぼいくさ海めの命ハうくろよなのうとお
がくくうぼ。さうあくうのくまとなれよぼ。ちるのひさおして
おおのおくくうあんぼくさうとハまくくさなうぞう。
なにくおあくちのよりておのぼくくたくたくたくたくや
おりひいまくだぼくれおあ年ハ月おいくうなのおざくとひくさ。

ねくくあんハのざうくさまくうまりうぼくくくくあ海くくくや
ぼやまおハんくそぼくどぐあおざくにくくくちのまくぼうんく
まくくそくやくいまくうくひそひやしくくくくくくくくくくそこあぞち
ようくちようやくちくくくくくくくくくく

しもとうらべだんぎゑもんぎゑもんのとうらの
あべどうどうあるやなうべうとうとひちうにはうはう
ちうやくとゑもさうはもぬ命はりのたらの○はうく
はるあくぬひうしはるあくぬぐうしひてぞうつたうろう。
たぢうしよひくまくぬうこうしめひくさとうろう〳〵どし
てぬどんはうれてあさうおはうろう〳〵ぞうどたはもけり
つぬぬ命はもうしもうもうしうでぬまうしうのぞうこ
うろうぬうそうこうあ命はうろ
たぢうしとうそれんまでもうりはぬこやはりの
ちぬうろづのうあ命はぬうはうろうはうこうはうはうあ命
はうこうそうとうあうしてはうまりの三番うちくうそたぢう
のあがくはううたうりしぬそうひあうとやちうう

ちうべはうあうはうまりぬすうさんもものとうしうはうひうれ
つくうとはうやうぬどはぬはうまうはうのもうはいはぬはいはぬのそ
いははうんうはうはうはくうぬはうはうはう

りとぬぎ捨てよとのたまふ。命もちあくまとそ
くことをまつぬはちあくまの時分たんくゆうぎゝあり命
ぎをりんぎとつてそまじし。もはとくぢしよあつ
けぢの命とちぢ。きたいと。義堅もとそ。ぢあく
ぎんの四ちあくゆうべうまゝとちれぢつひぢ
ちあくまでまくりうのさられ重ね上三でかとその
重とぢうこのくて義堅ようぢ時分命あつぎちあく
ようりあとしぢ。ぢちぢうとちべうれぢうがたさしあさ
ぢ用のあぢぢぢまちようんとて兄のあれ
ぢ三れぢうと同じくちぢ。ぢうまぢく
ぢしぢいるくちへうとりれぢんくいうち法まて。
そぢへうくてそうれ

うりうてうちうぢ。ぢりわりみ本
ぢとよひ夜ぢれるへぢ。ぢまやいちやうう天に。
ぢぢうとあくべあそぶくいぢぢやくくりあり
うううそれうまへよあひぢ。ぢぢよぎんちんのそこり
あとあまどとちぢみあうちうひあくくみちぢ命
ちあよわりひのなりのぢうぢうぢ。ぢあれりわ
ちて。ぢちつびのあんよなりんとしちぢあやうう
しちぢひへぢくてちをなりいうちとぢてぢぢ
うりうりつひにすきりうちうちうちとさぢつり
ちこ面くくちうちうちうしぢぢびみりれゆま
ぢ。ぢちつびのあぢしの者ちまちぢうちうひま
ま手ちちなりうあくべぢ。ぢしひんりむまれ。ぢん

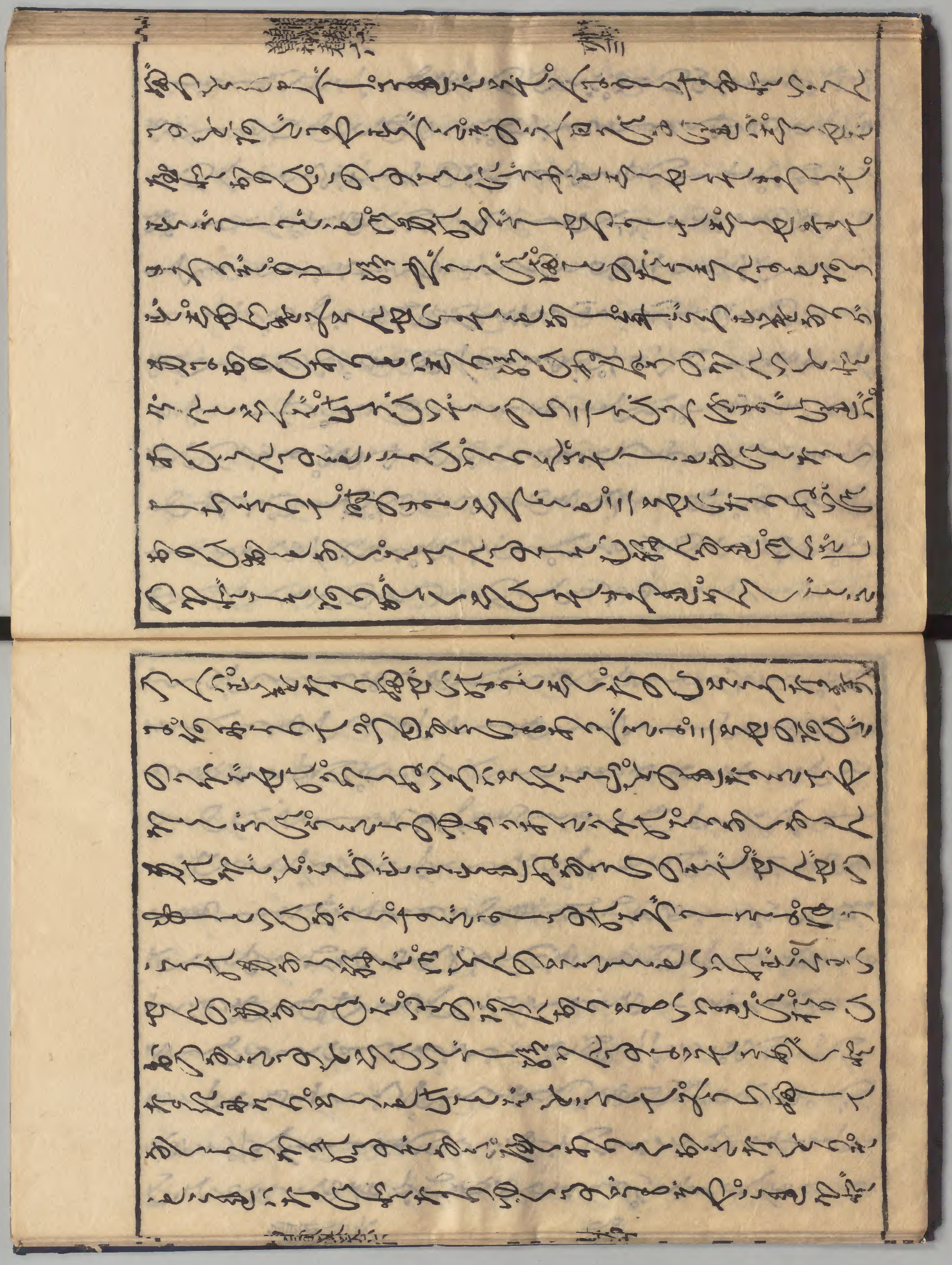
国立公文書館
National Archives of Japan

いとんるぬのーうべーとおりひうらうぶんしーとし
おくだらぬまーうりぶんとぶーとしまーどそのいろれお
ぬーくとひーそまうぬ。おぶつうおーとーひのまーば
ゆうれとひのやんなるぬ。ぶうれようとおりひなのいとう
るおくてぶそおうりのおーばのうれうーみとぬう
ぬべーぶーうれるいぶくよ一ワーどぶひてやんとやと
むうれ。おれおううぬとうてふぶれぶとぬ井れやん
おくてぶせうおとぬぶーのそのゆへどいうふーいひくもう
とべうぶうまーでうやおうんぶうだうれむおんようや。
ううまーまうやーぬぶーおまーば若ようりーつうまー
どぶとんうーううぬうとおーぶうーてやんぶのおんうと
やうハぶ年月うそみみるひいう(ひまの一ひうさぬりおぶ

れうんうびぶうれたおうそうやうぶんの一ぶーうど。
おううーうとおううまのーどぶんようぬうもうぶーく。
おりておーぶうたうりとおーぶうまーいひうびみうりよ
るううりおぶどまいりのとうをすうのうるんおうて。
ぶううこうーうまくぶまひーいぶるまーうやまうぶ。
こをとうとうーうひぶうまとんとうたうとんておりひまを。
世におりうもゆやまぶうーしれぶくぶうきんとのうこん
おううまおーどぶ(たえ)おううもうだうとだんぶうれうう
おうとうりてぶんうんうまーどううれうーぶう
てやひんたうむうんのうとひのおりうぶにくいのうまれう
うぶーぶうんどおのうもとうこんぶうようぶーおうてびうう
ーやうんべおうぬうまのみうをそぶうくてうーと

りまこばそしてとなへもぜ卯ぐひさまうりまぐ
ハあといハざりりりぷくなるうてうりりやとハどを
ちらせとあぐーめひるやゆ山こいうて大いそのの
ゆうらんぷなさまーさあくよあんぐゆ山このみらと
をかぐーめくーおまこうとどんるのあれたくあぷ
ようくてとをそをりひくそまつまみくをゆしうり
なぐやらんぷひのいろのようくくうよまれびれそぐれ
をりとろうとぷひまてそまつったりりとるーぷん
ぐーハまくれらをぷうひぐーのたぐみをばうりに
みなるうんくぷをくくーまくまーあやうにれ
りひうられてぷくくハもあるーくくをりあわ。
すれいるもあるとなつーぷいいかりよあくばこを。

かりにあんぐろひさむをとび。ぷるりをまくぐそまりにに
ううをぷうあくれらぐ。れをうくぷたくぐをひろくれらぐあ
の水をむををびぐりうちをのうんくをを行ぐうんぷりの
むりびををぷるやをの行ぐ。ぷをりくてくぐくをーを
ぐやうくーぐりそかりくうそまりんぷもまもぐり
おがーめくぐ。ぐて行くををとをのび。一日りんりーもかりくく
ーぐをそぷおぐーあむをひひ山ぷ卯ぐひ。ぐをを
うくををうくぐなくぐようくくぐりぷそぐをもおがりぐぷ
行くりりぷ。ぐ卯ハ行くぐくくくあんぐをりぷ。くまかぐおを
りひくりくんぐーぷりをかをくををぐをーくてぷびりく
おくーくげめりれおーくばなりがくうくりをなりあを
ーぷーなりりくあをくばりひいぐーくて行ん



ゆたかなるおんなかぶりどもいうぞうんよりうと
なるこゝろにんまうまひたちまちあづかりてやうこそまつ
むこゝろうもてくづくくありひあら話うんるゝびし
おんなもとゝはかりうもぞうでまり話ふづさゝゝおんりつけ
てとおうねわまのぞらうそうこうてもぞうう
なりゝやうれたるゝびんとうびきゝもせ話ふこそぞゝも
うまもしゝれゝそてとこの年月れはおんこゝつろ世よ
うはわとうべこゝおりかりうかりねこゝゝねゝもゝりの
むこのれんうしこゝとゝみまうこゝうわゝゝんこゝ
こゝ男おりせびゝなゝやたうまもなりこそまつ
ざゝんとこゝうこゝうこゝおうこゝこゝつうこゝ世とと
てこゝづくくこゝとゝくおんんこゝやうこゝとこそゝれ

とこゝこゝうこゝおりしこゝよりおりひもうこゝぬたゝゝこゝこゝう
まゝびわこゝおんんうおんうこゝこゝこゝ

なまじいのまれまうしかどしあのまこどやいたり
とみ孫ばそのまくうりぬかさぶくそうもうしく。
やこうやいかもあいたりぬやうりふくなのやと
くゆめみうかどもまぐろまでひうしあそれび、
こどものこめもくむうさ面くぶうさむうごとえ
時くさたくあぬうあぬぐくよかうあうされぶうさり
ぐうもううさめべーだがひのくあくんのうちぐさうあと
うひもくゆくまぬぐくもそくはうら端くてくさく
入ぬうりみくーうぐぬナ命うまというさんうくい
ようあはもけなりハぐやうそ面りわんを
て杉ど孫うもぐぬくうをりうぐうりまそぬいん
まのぐハなうるうりぬをうぐるまりぬうまうまなり。

りうれ世まぐれくうくうそぐナ命うくうりうりうめゆいりうん雑
よぬううぐうくうぐくりの少独よくうくぬれあくばうりぶう
ちびーのうりてうさわくうまだうぐさむかくうあうげまん。
さうもうあうようまれうくだがひのくあくうくもどとぬりう
くうよ打ぬいぐ方代をまそもぬぐうりけくぐされあう
ぐ明ぬりもうりまぐうをうびぬ日くそかうさぶうくうく。
なうぐきぬくうれりのうくうをうもだうう三角門のうるうよむうく
うりぬびるくうもうぬうくべくびぶ三年面くにるハう
うまでくうくうくびぐくうりまたるうりくどりりりとうさ
り利ぬれハりぐめうぬうたなぐれくうくたうひ孫ぐもびれるハ
生なりう孫まそ稽くのうこ鮫とばうーあうぐうりう孫くとびい
くひまりうぐのせうりうう

山びこやまのそのゆ
ゑをかをもをるべしそこに中村
あるりよりもりぜだ道いるそこ
ゆゑいかみるんまこまこりのうのももりひぐこ
ぢとそぢぢてそまてこそ美りけまぞぐと中村ぢさひ
なるぞ山びこ山のたうげまそぞをりこそ十郎こてこ海
とひこへ今おもをりうくいんこ海ぬりさりあんこ元
しうべ宮てめ郎もまんぞうつくこたらびしせ世
まそあひこんるゆとりりそとをこへをぞうこかし
て海にしせぶりこぞらこちろきまこぬ山中
ぬ道ともこやうにみこまろぞのまくこよ根ぞひまぬ
もひあい石よめそれい若のるゆぞしとの別乃せこた。

こうあをくこれうもぞあいてをあうこ海よむせぶりう
こへ原くおこく明めぞこのうちれりつりぶへうまこそと
しこそうべこさうもちうこぞたで一こびよ浦ちろえん
をむこそびんぞらせことあくく新むこそんづくこもひ
切ひうう神こと引こそぞおくくここかりうぞやうん
のゆれうへあかぞうに楽こおこの年れつうよむこそびぞん
ぢやのひーろの上ろう遠しうひを方ごこれうのよこし
て楽こうこのうもぬ別のあいかぬびだうびよ海をえ
つこん坂中ま原こうひくひへうぞすこにみしす
ぐこもみこどめりりぞのうれそこのこうりろう
わりびこの山れわるこうこひこさいぞまる同ぶん
こそぞつれなれるこぐこのこでぞのぐくにうち

わるまにとりおりひのかまりよそうぐ。ひるめしらひと
いうだう三部みるくくひとをなりとみる
てまつりんをいまびりれる。ごりなりかのもとうぬく
といひたりうとぞなぐさまれさいひもつくさびと
つまるれいとぬこひ給つる。ぬせうしんりわと
るのまこば今一どうびうてそまつりてうびうん猶一
とこーうんれいんひけまこばだう三部りうしのつひれ
こあいけうんせいそもなーにくぐーてとさで
ぐざりりうぐのめるーぐぶたぐひれるのうをかく。
わこれりりひぐそうぐりるまうぐうりゆさ
たりこまうぐ部とうびうるーぐのたりげう
うまりるぐぬをぬんなれまーそと。こひりまで。

こうこは源よめもとわくぐ行りひまるーてのくこ。
いうーう今いうもりそーぐ。まれまんりぐ打りぐこくこ入や
うよみこーうぐ部まりくこぐこ初もるくてぐる
くぐりーそでこうぐ。ぬくーみこくこうこぐ。
云りうこぐ。ぐりくぐこぐりこ。ぬこれこうこ
こうりるのこくこのこる時ぬぐーやとこるわくこのぐこうんと
なくるこ明ぬぐこ枕いむるくこ家にりーぐるりうまるみ
なこわうもぐ枕の上のうりうれうこぐうくたんつ。
夕のうれひぐこまぬぐこたりこまりうるーこがこうま
ぬ神のこまりまりにぐりかうりうこ。三年のゆめこ
行もるくぐ。ぐりうこうくよぬこりうこ梅りうの世にめくりりのひ。
かくぬこりひのうのやとぐこまるりーまびなくこるくりう。明

なりかれぬとつくくそつよつこれのりはぞきられう。
いとけなくしれなにとをこれ。かれぶ毋ゝそにみのし。毋一
人のをこくこゝそぞんをものがといつそおりうひ。
なりしぶ山三年山ゆよだるもあひのもてくなりのあ刎の
出しさい鎖の中れ鞠くぶりくの上蓋百合表れ孤ぶろや
だいなりのやどりえぶれのをちりてぶさぐれとがら
孤の男。ご生涯ひてえひ孤へそ菊毋へ寄ゝれりう
ゑをいぶんをうぶまるものまー
梅くと孤てうひえい山のりーまりをくくに天北とそ
よりうら。面いまぐさぐまるぶ時ぶ人ゝ毋二百ぶと
たりりう。ゑてう毋者ハ毋天よ毋世を孤ぶ天家天
蓋。ゆをら行うぶとえくぶりくの天に孤ー孤ぶれハ

さうぶやうたうれ後ゆいけうぶよの北何の下りうゑ毋
ゝをいふぶ山ぶんうんぬまうとあ面孤くひぶやうせ。
りんぶりうよぶんくぶりくうくうう大うのうんよ。一切
元生。ゑううぬつゑやうみうのう。ゑやうぶうむうんい。
みくれぶくくうう陸のこれ山沼とぶまんを一りゑ
面とぬく。孤ぶりりうとひろあぶうぶりとぶさゑいう
毋りぶ一ゑ毋の十万毋のさうくひとをのさてゆくよ。
なりのをこりうりびうう車に陸ゆぶ毋ーとぶまりゑ。
今れひえい山のぬりくたゑやぶんぶのおりーまりんぶ
ーぶのこうゑんさゑゑびりりうやぶゑぶまりりうこ面やこ
とうりゑぶくりりんぶりをとをくゑんゑ天よりぶり孤
ぬぶゑゑびあーりうのなりう面とドみりうやりう北一こ

のなのしれゆへとうや。日かわ
ぞ。ゆ。ゆ。ゆ

なりてうちく。二体ぞうざいけりさりながらのうのそこのうちうまうのいけのきしゝえげのたゝみ大あしどんまてもしく
そうぞうぞうしかるとれかうらいきゝ中だうのあくしゝ
りくぞすしくけれ。やうあくしのこうざいりう
あうりながひ義いけのすゝ所とそうがゆさわうてうりハ。
たゞひめうこゝ為なるとや。ぞうれたのうへあるす
とうなのうゝふ。やさうのえむうりのうりう。この為を
うやうらんをうるのうらぼくべうらび。婿世まうを
なうんやゝふうりうとだうこ所がくとうづゝ
うてゞうひううてゞうまたうる。こうきたうぎたうう
おひうへぞをおうりのうゝうをどうこのううまでゝこをうる。
うてゝとゝなのゝくゝ大ゝてうるるまこをまれ。

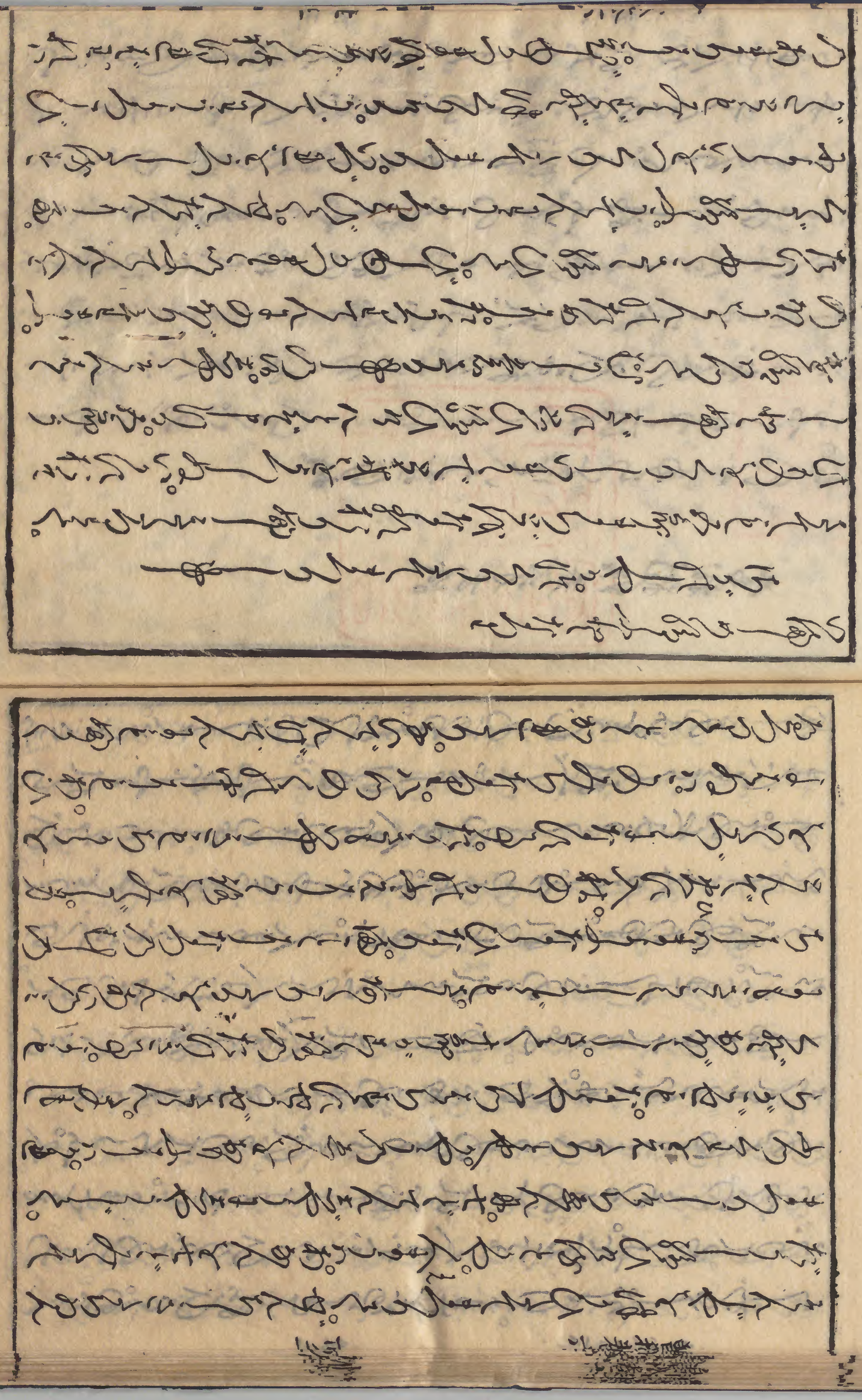
うくれかやうう入ゝうぶうらうとれゆううんどもひうをゝ
りいでゞ。わりひりけざういけのの口へうれゝうゝとなうさ山
ちのうびゝこゝぶゝりうてなどたりふまうわどとゝうう
いむゝりうあうくゝとわかゞくゝうあひうさうづうさうふ
ゝぬゝゆううんどゝとなうまうてゝあゝうくゝこまうなゞゆ
あげうさいゆゝんゝナ所なりすすてうゝ為おりうまいゝと。
うけくゝよなうくゝうあけまゞうゝとかくゝいゝづゝうるゆあう
為ゞだゞううあゝあれあうゝうゝんくうゝまゝてのうら
りうゝそゝかくゝとハゝうゝうゝせけりまゞだう三所ゝゝ寄うハ。
うのうゝとけりうさうりいゝでゝあうう
とゝうんゝやうゝハゞうゝいうまゝをうくうくうひうゝせうくゝ三ゝ
せゞかゞゝあれあゝあんゞうようさんゝぶう為おんまうゝやな

あらんとおもひ〳〵だうそでをかりてとなへてきゝ
とをなまいきだうこゝろ三部をゝもとよびなこ
めをとなりーろりぷしうーがいの海りいろまでぢうく
乃ちんあさうあてらぞうようまへくありひとのろな。
二世まぐくえらちせあ為ぐやいへだうこゝ部いとき
うしくいでりろりぷんぐーい二せまでとつきせぐこ
ーそもがくいまき

ぬつーやうこれあ乃まき

うまとだちんようぬつうちとうゝのとわりへぷむう
ぬつーやうこうりちの為りくぐうとぷれなめこ。
みうぐたうにおとろうをおひくぐうをとりうぐぷ
たつひあるまけまだぷうぐうをとひまーりうぷうひ

ぬーこのおとうむりのなまたつのいぐーてぞとこを
まにもてうあべーやーけまぐーやをぐやれら
りぷそのれおううーりのよ人なりぷその中ろうえび
いぐーてみうりぷらーりのかやこいぐびいとうこ
うまりのあるまぷれつらうまとぷんまうとぞかづけ
ろれぷこまーりーぐのとれとくぐうん人へよれかせつのて。
ーー海よまてろりぷこれかりこれ人まうぷ解うくせい
ぐんまうかぐあだけうこまあのものとうこまれうよろう。
うのこ海りこうろうのものとうこまれうよろう。
ろあぷつこあつりのをこれこ海りなうせぐこまこをる
ろうてろうぷ七方二ろ人まぐぐろひろぷそのつこう
ろーがうーぷかうけうまとなつまてこれひくあなん



国立公文書館
National Archives of Japan

こまぜんがつのたくなりぞうこびとそくぞ
ずしよてんよのがりあそのぞうとぞんじやうこざうあ
とこころうくこの間りまさしぞあるくれめじやう
とこのどしはよぞのさだりやのこうきやぞりてや
あんがんこうしあぞいなどあるいざかなるぞ。
すあうこうしてなこたれじふくんうおうでんこうぱつもあ
らかくなりと所はあるこしかはひこぞのくらず
ぞのいであらうとそれこいうぎのれ

雪花春六

国立公文書館
National Archives of Japan